

農時電送

共通・号外No. 2

過湿への対応は万全に!

7月4～5日にかけての降雨により、ほ場内への浸水が認められます。排水対策を行い、湿害軽減に努めましょう。

また、過湿条件で気温が高くなると、作物の病気が発生しやすくなります。被害が大きくならないよう、早めの予防防除に努めましょう。

●ほ場の排水対策、湿害対策

- ・ほ場内に滞水が見られる場合は溝切りなどを行い、排水に努めましょう。
- ・ハウス内に雨水が流入した場合や、ハウス周辺で滞水している場合など、土壌の乾燥を促進するため、ハウス周辺の溝切りを行いましょう。
さらにハウスの開閉をこまめに行い、ハウス内湿度の低下を図りましょう。

●作物の病害防除

- ・馬鈴しょは、滞水・冠水により塊茎腐敗が著しく増加するので、早急に排水対策を行いましょう。また、疫病防除もしっかり行きましょう。
- ・てんさいやそば、豆類は湿害にとっても弱い作物です。滞水を確認した場合、早急に排水対策を行いましょう。
- ・ブロッコリーの花蕾腐敗病や軟腐病、アスパラガスの灰色かび病、かぼちゃの「ガンベ」症は過湿条件で出やすくなりますので注意が必要です。また、うり類のうどんこ病、疫病にも注意しましょう。
- ・ながねぎは根が弱く、湿害による「葉先の黄化」が出やすいので、早めの排水対策が必要です。また、べと病、黒斑病も出やすくなりますので薬剤防除を行いましょう。

最新の気象情報に注意し、早目の対策を行いましょう!

○●農作業事故防止に努めましょう●○